

I 事業報告

1. 概況

- ・2024 年度年間助成実績額は 2.5 億円となった。
- ・前年度から「日本人学生向け給与奨学金」を 40 万円/年に増額している
- ・「日本人学生向け給与奨学金」は不採用 12 名、辞退 4 名があり、奨学生が減数となった他は、「外国人留学生奨学金」ともども計画どおりに実施した
- ・「研究助成金」は前年 30 名を当年 35 名に採択者を増やし、助成金を贈呈した
- ・正味財産増減計算書(損益計算書)において、
(経常収益計) 420 百万円、前年比 26 百万円増収 (日揮 HD 株式 2 円増配等により)
(経常費用計) 311 百万円、前年比 7 百万円増
(評価損益等調整前当期経常増減額) 109 百万円、前年比 19 百万円の増益となった
(正味財産期末残高) 15,668 百万円、前年比 2,662 百万円の減。 原因は保有株式の評価損で実損はない。

2. 日本人学生向け奨学事業

2.1 給与奨学金 (373 名、147.8 百万円)

- ・指定 72 大学の理系学生対象に 385 名募集、373 名を採用。 併給不可としている高額奨学金受給や極端な成績不良など、応募条件不適合者 12 名は不採用となった。
- ・また採用決定後に休学や辞退を申し出た採用取消 4 名から計 137 万円の返金があった

2.2 日本人学生向け海外留学奨学金 (3 名、5.2 百万円)

- ・指定 5 大学の理系大学院生を対象に各校 1 名、合計 5 名に 15 万円/月・人の奨学金と渡航費 20 万円を給付する制度。 2024 年度は 3 大学から 1 名ずつ推薦があった。採用奨学生 3 名が 2024 年 9～10 月に留学を開始し、奨学金を給付している。
- ・2025 年度出発予定の日本人留学生の募集は、指定大学数を 5 から 12 校(旧スーパーグローバル牽引型大学)に拡大して各校推薦 1 名枠で募集中

2.3 貸与奨学金

- ・2011 年度から新規募集を停止し、現在は貸与金の返還のみおこなっている。
- ・当年は 32 百万円の返還金があり、完済者 77 名となった。2025 年 3 月末時点で返還者 203 名、残債 69 百万円となった。
- ・2025 年 3 月末時点で当年度 1 度も返還が無かった者は、内容証明郵便で弁護士催促状を送付した 1 名のみ

3. 外国人留学生向け奨学事業（79 名、23.7 百万円）

- ・指定 68 大学の理系私費留学生 80 名を募集し、応募者 79 名の採用を決定。30 万円/年・人を給付した。2 名枠の東北大学で中国籍に重複しない推薦者がいないとの事由で 1 名枠辞退があった

4. 奨学生ならびに大学担当部門との面談・交流

- ・Covid-19 の影響で中止していた指定大学訪問は前年度部分的に再開したが、当年は全 72 指定校を対象として、大学担当部門との意見交換、奨学生と留学生との面談を実施した。

5. 研究助成事業（35 名、70 百万円）

- ・指定 36 大学に学内選考と推薦(Max 2 名/校)を依頼し、31 大学から 60 名の応募があった。
- ・選考委員会で審議し、25 大学 35 名(女性 6 名)に 200 万円/人、計 70 百万円を助成した。
- ・「研究助成金贈呈式」を 9 月 6 日東京ステーションホテルにて、文科省の来賓をお迎えして執り行った。
- ・また、2022 年度贈呈者の 2 年間の成果として 3 月に研究報告集 Vol.41 を発行した。

公益財団法人 日揮・実吉奨学会 2024年度奨学金および研究助成金の指定大学一覧

大学 コード	大 学 名	日本人		留学生 (計画人数)	研究助成金	
		給与 (計画人数)	留学 (計画人数)		給与 (計画人数)	奇数年 偶数年
01	北海道	9		2		○
02	東北	9		2	—	
03	東京	11	1	2	—	
04	京都	11		2		
05	大阪	11	1	2		
06	九州	11		2		
07	東京科学	9	1	2	—	
08	横浜国立	6		1		○
09	岩手	3		1	—	
10	千葉	7		2		
11	新潟	4		1	—	
12	金沢	4		1		○
13	名古屋	9		2	—	
14	神戸	7		1	—	
15	岡山	5		1	—	
16	広島	5		1		○
17	徳島	4		1	—	
18	長崎	2		1	—	
19	熊本	4		1	—	
20	宮崎	3		1	—	
21	鳥取	4		1	—	
22	秋田	2		1		○
23	山形	5		1		○
24	群馬	3		1	—	

大学 コード	大 学 名	日本人		留学生 (計画人数)	研究助成金	
		給与 (計画人数)	留学 (計画人数)		給与 (計画人数)	奇数年 偶数年
25	福井	3		1	—	
26	静岡	7		1	—	
27	山梨	3		1	—	
28	名古屋工業	5		1		○
29	山口	4		1	—	
30	九州工業	5		1	—	
31	室蘭工業	3		1		○
32	東京都立	5		1		○
34	早稲田	11	1	2		○
35	慶應義塾	9	1	1		○
36	芝浦工業	9		1		○
37	東京電機	9		1	—	
38	日本	11		1	—	
39	中央	4		1		○
40	学習院	1		0		○
41	東京理科	11		1	—	
42	千葉工業	9		1		○
43	成蹊	1		0		○
45	鹿児島	5		1	—	
47	東京都市	4		1		○
48	上智	2		1	—	
49	関東学院	3		1	—	
50	信州	7		1		○
52	埼玉	4		1		○

大学 コード	大 学 名	日本人		留学生 (計画人数)	研究助成金	
		給与 (計画人数)	留学 (計画人数)		給与 (計画人数)	奇数年 偶数年
53	富山	3		1	—	
54	琉球	3		1	—	
55	茨城	4		1		○
56	東京農工	5		1	—	
57	岐阜	4		1	—	
58	愛媛	4		1	—	
59	北見工業	2		1	—	
60	宇都宮	2		1	—	
62	佐賀	3		1		○
63	大分	1		1		○
64	兵庫県立	3		1		○
65	豊橋技術科学	2		1		○
66	長岡技術科学	2		1		○
67	筑波	7		2		○
68	工学院	7		1		○
69	東海	11		1		○
70	電気通信	4		1		○
71	立命館	8		1		○
72	日本女子	1		0		○
73	東京海洋	3		1	—	○
74	明治	9		1	—	
75	同志社	5		1	—	
76	お茶の水女子	1		0	—	
77	大阪公立	8		2		○

【2024年度実績】

* 日本人向け奨学金 実績(計画)	給与 373(385)名/ 72(72)大学
* 日本人留学生 実績(計画)	給与 3(5)名/ 3(5)大学
* 外国人留学生奨学金 実績(計画)	給与 79(80)名/ 68(68)大学
* 研究助成金 実績(計画)	贈呈 35(35)名/ 31(36)大学

【大学欠番コード】 No33(大市大→No77), No.44(九芸工→No6), No.46(武蔵工→No. 47), No. 51(大府大→No77), No. 61(三重)

研助No.	大学名	氏名	所属	職名	研究テーマ
2401	北海道大学	川崎 教行	大学院理学研究院	准教授	小惑星リターンサンプルに含まれる惑星材料物質の形成年代の測定
2402	北海道大学	長谷川 智香	歯学研究院	准教授	慢性腎不全における高濃度PTH/Piが及ぼす骨崩壊の病理メカニズム
2403	京都大学	北川 俊作	大学院理学研究科	准教授	電流印加型核磁気共鳴法による奇パリティ超伝導状態の交差相関応答の探求
2404	大阪大学	近藤 慎司	大学院基礎工学研究科	助教	オペランド界面分析と精密分子設計の両立による電気化学分解物層の固体力学モデルの構築
2405	大阪大学	藤本 隼斗	工学研究科	助教	アラインのメタルフリー重合法を基盤とするグラフェナノリボンの精密合成
2406	九州大学	高野 哲也	高等研究院	准教授	脳神経回路特異的な分子機序の解明を目指した時空間プロテオーム技術の開発
2407	横浜国立大学	多々良 涼一	大学院工学研究院	准教授	同位体標識質量分析法を用いた次世代蓄電池の劣化機構解明
2408	千葉大学	大里 健	先進科学センター	助教	次世代宇宙広域探索に向けた多波長宇宙論的シミュレーションと観測データ解析への応用
2409	千葉大学	宇津 美秋	大学院薬学研究院	助教	アストロサイトにおける老化関連スフィンゴ脂質代謝経路の同定、ならびに加齢性の血液脳関門機能低下への関与の解明
2410	金沢大学	長田 夕佳	医薬保健研究域	助教	抗原親和性を基盤としたIgE受容体の不応答誘導とアレルギー反応制御方法の開発
2411	金沢大学	村居 和寿	医薬保健研究域	助教	ウイルス感染免疫応答における脂質制御分子の役割の解明
2412	広島大学	小川 裕樹	大学院先進理工系科学研究科	助教	高強度・高信頼性を有する接着接合構造の実現に向けたレーザーパターニング処理の援用ならびに非破壊検査による品質管理
2413	山形大学	土肥 侑也	学術研究院	准教授	モデル二次元シート状高分子の調製と分子特性解析
2414	名古屋工業大学	松原 翔吾	大学院工学研究科	助教	合成クロロフィルの階層的な自己集積による光合成光捕集系の再現
2415	名古屋工業大学	安川 直樹	大学院工学研究科	助教	ホウ素ラジカルが拓く重水素標識化合物ライブラリーの創製
2416	室蘭工業大学	武内 裕香	大学院工学研究科	准教授	バイオマス材料を媒体とした可視光集光アンテナの開発
2417	東京都立大学	楠本 周平	理学部	教授	ルイス酸性カルベンを鍵とする希ガスの配位化学
2418	東京都立大学	下山 大輔	理学研究科	助教	有機ホウ素を側鎖に有する高分子の合成:可逆的相互作用による機能創出
2419	早稲田大学	八木 創太	人間科学部	講師	生命の起源の理解に向けた原始的なタンパク質-RNA間相互作用の実験的再現
2420	芝浦工業大学	中村 奈緒子	システム理工学部	准教授	細胞老化の非侵襲的かつ高精度な経時的評価法の開発
2421	中央大学	早川 雅之	理工学部	助教	細胞に接着する磁性マイクロロッドの開発とそれを用いた細胞運動の制御
2422	中央大学	吉田 昭太郎	理工学部	助教	環境探索型ソフトロボットのための力覚センシング機能付きカメレオンスキンディスプレイの開発
2423	成蹊大学	沖 光脩	理工学部	助教	7員環を含有したラダー型オリゴイミドの創製と機能探索
2424	東京都市大学	奥中 さゆり	理工学部	准教授	太陽光エネルギーで駆動する次亜塩素酸製造パネルの開発
2425	信州大学	戸田 泰徳	工学部	准教授	有機分子をグリーン光触媒として利用した芳香族化合物の環境調和型合成
2426	茨城大学	井上 大	応用理工学野	助教	自律型独立分散電源への社会実装に向けた環境熱電変換デバイス
2427	茨城大学	坂根 駿也	応用理工学野	助教	熔融バルクを原料としたエピタキシャル薄膜熱電材料の作製
2428	兵庫県立大学	潘 振華	工学研究科	准教授	粉末系光触媒による液体太陽光燃料の製造
2429	豊橋技術科学大学	山根 啓輔	大学院工学研究科	准教授	輻射発電デバイス応用に向けた超ナローギャップ希薄窒化物半導体結晶の創生
2430	筑波大学	中村 貴志	数理物質系	助教	シクロデキストリン多量体を用いた配位認識人工酵素の創製
2431	筑波大学	野崎 翔平	生命環境系	助教	タンパク質科学を基軸とした植物転写制御因子の新機能解明
2432	工学院大学	前野 禪	先進工学部	准教授	等温等圧で触媒的に再生可能な低濃度CO2吸蔵用機能集積材料の開発
2433	電気通信大学	村松 大陸	大学院情報理工学研究科	准教授	バッテリーレス/センサレスの次世代ヘルスケアに向けた生体バックスキャタ技術の創出
2434	大阪公立大学	北川 大地	大学院工学研究科	講師	6 π ヘテロ電子環状反応を駆動プロセスとする光応答分子の開発と応用開拓
2435	大阪公立大学	北山 雄己哉	工学研究科	准教授	自然にやさしい化粧品のための機能性高分子カプセルの開発